

第2回上下水道審議会における意見一覧表（下水道事業）					
No.	質問者	資料番号	意 見 内 容	対応課（担当）	回 答 内 容
1	手島委員	資料3 (P1)	費用が、支出内訳では前年比で減少しているが、合計では増加になっている。前年比で費用増加の費目は何か？	上下水道経営課 (下水道経営担当)	大変申し訳ありません。資料3の『「2 収益的収入及び支出（主なもの）」の表中「下水道事業費用」』の数値に誤りがありました。訂正いたしました資料3のとおり、支出合計におきましても前年比で1.7%の減少となっております。
2	池上委員	資料3 (P2) 資料4 (P7)	令和3年の資本的支出が、資本的収入より大幅に多いことから、今後収支を安定していけるのか。（過年度分損益勘定留保資金等で補填しましたとあるが…）	上下水道経営課 (下水道経営担当)	資本的収支がいずれも赤字となっている原因は、資本的収入が水道事業では企業債、国庫補助金、負担金、加入金を、下水道事業では、企業債、国庫補助金、受益者負担金、寄附金を財源とし、建物や施設、配水管や污水管の建設改良、企業債の償還金などに支出しています。これらのインフラ整備には多額の費用がかかり、資本的収入だけではその財源を確保することが出来ないことから赤字の収支となりますが、このことは他団体も同様の状況であり、入間市に限ったことではありません。 公営企業会計は、収益的収支の利益と減価償却費で資本的収支の赤字を補填しているため、資本的収支の赤字が続いた場合であっても、収益的収支が黒字で推移していれば、資本的収支の不足額を賄うことができ、健全で持続可能な事業経営を行うことができます。（水道事業の回答No.10と同様になります。）
3	森谷委員	資料4 (P6)	自己資金R8年度末残高を「11億円以上」に設定しているが、6ページの表中にその数値が出てこない。どのように理解すればよいか教えてほしい。	上下水道経営課 (下水道経営担当)	自己資金については、現金預金（年度末残高）の表をご覧くださいませようお願いいたします。
4	森谷委員	資料4 (P1～7)	表の数値で集計値として、評価するものはR3の後に「前期小計」欄を設けてほしい。	上下水道経営課 (下水道経営担当)	数値につきましては、10年間の計画の中で中間評価・見直しを設け昨年度見直しを行うにあたり、前期5年の実施状況を踏まえ後期5年間を見直したものであります。進捗管理評価シートにおいては、10年間の進捗状況を見てもらうために設けたため、前期・後期の小計欄は設けておりませんでした。それぞれの項目において限られたスペースの中で記入しているため、ご意見として承り記載の仕方について今後検討いたします。（水道事業の回答No.16と同様になります。）
5	鈴木委員	資料4	令和3年度決算における進捗及び評価については、内容、結果、理由が記載されており分かりやすい。	上下水道経営課 (下水道経営担当)	ご意見いただきありがとうございます。 引き続き、分かりやすい資料作成に努めていきます。
6	鈴木委員	進捗管理 シート全般	評価については、例えば点数化するとか、○△×をつける等、第三者に対して分かりやすく記載していただければと思う。また、場合によっては単年度の評価ではなく前年度の影響や将来（ビジョンの最終年度）に向けた達成見込み等も可能であれば記載してほしい。	上下水道経営課 (下水道経営担当)	ご意見いただきありがとうございます。 ご意見として承り評価の仕方について、検討していきます。（水道事業の回答No.21と同様になります。）